日野市教育委員会 様

学 校 名 日野市立仲田小学校
校 長 名 山本 剛秀
(公印省略)

令和7年度教育課程について (届)

このことについて、日野市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

生命尊重を基盤として、児童の自律的な学習・生活態度の育成を目指し、学校・学年・学級経営を充実させ、児童自らがよりよく生きる力を伸ばす教育活動を展開する。「第4次日野市学校教育基本構想」の趣旨を踏まえ、コミュニティスクールとして地域社会全体との関わりの中で、学校・保護者・地域が連携して、「いのち」を自他ともに大切にする学びと生活を充実させ、思いやりの心を育む教育活動を推進する。また、「地域がステージ・学びの変革プロジェクト」を推進し、成就感・自己有用感を味わわせる教育活動を実践する。各教科等の指導を通して、確かな学力の向上を図り、意欲的に学び、よく考え、自ら考えを表現できる児童を育成するため、次の学校教育目標を設定する。

◎すすんで学ぶ子

- ・基礎的、基本的な知識及び技能を習得している児童(放課後補習教室等の活用推進)
- ・主体的、対話的で深い学びをする児童(一人1台学習者用端末の効果的な利活用、校内研究の推進)
- ・自ら見いだした課題に対し、探究心をもって取り組み、思考力・判断力・表現力を生かし、課題解決する児童

○からだをきたえる子

- ・自らすすんで基本的な生活習慣を整える児童
- ・健康の保持・増進や体力の向上に励む児童(健康教育<がん教育・性教育・食育等>の充実)

○思いやりのある子

- ・「いのち」の尊さ・素晴らしさを自覚し、自他だけでなく、全ての「いのち」を大切にする児童
- ・多様な人たちと親しみ、触れ合うことを通して、豊かな人権感覚を育む児童

○最後までやりぬく子

- ・学校の教育目標、3つの目標達成に向けて、努力を続ける児童
- ・自分の今やるべきことを自覚し、最後まで成し遂げる児童

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア すすんで学ぶ子

意欲的に学び、課題解決力を育成するために

- ・児童が学びたい、追究したいという気持ちを引き出す工夫をし、児童一人一人が主体的・意欲的に取り組む教育活動の推進を図る。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行い、児童一人一人の力を伸ばしていく。
- ・個別指導・グループ指導、習熟度別指導により、基礎的・基本的な学習内容の定着を図ると共に、体験的な学習を積極的に取り入れ、指導の充実を図る。
- ・児童が既習事項を利活用し、自分に合った学び方を見付け、問題解決方法を見付けたり考えたりしながら、対話を通して探究的な学習の充実を図る。
- ・一人1台学習者用端末を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ると共に、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- ・本物に触れる体験や自分で体験する活動を大切にし、感じ、考え、実感する活動を重視する。
- ・委員会活動を中心に、児童自身が学校生活の課題を見だし、話し合い、解決する活動を充実させ、「子供たちが作る学校」を推進する。

イ からだをきたえる子

たくましく生きるための健康・安全や体力を向上させるために

- ・豊かなスポーツライフの実現を目指した教育活動の充実を図るとともに、家庭や地域と連携して、望ましい食習慣や基本的な生活習慣の確立を図り、健康教育を充実させ、生涯にわたる健康づくりの基礎をつくる。

ウ 思いやりのある子

いのちを大切にし、人権感覚を育むために

- ・自他の生命を尊重して行動できる豊かな人間性の育成を図る。人権教育全体計画・各学年の人権教育年間指導計画・学校安全計画に基づき、各教科、道徳科、行事等で計画的に自他の「いのち」を大切にする心を育む教育活動を実践する。
- ・一人一人の児童理解に努め、児童の思いに寄り添いながら、心の成長を目指す教育を行う。
- ・いじめに対して、正しい理解をさせると共に、児童相互に思いやり心を育む指導の徹底を図る。
- ・体に障害のある人や地域の人等との交流や体験活動を通して、いのちについて自らの考えを深めると共に、他者の気持ちを思いやる心や様々な人と共生していく大切さを実感できるようにする。

エ 最後までやりぬく子

目標に向かって努力をし続ける児童を育成するために

- ・「すすんで学ぶ子」「からだをきたえる子」「思いやりのある子」の各目標の達成を図るために、さらに継続して努力していくことができるよう指導の充実を図るとともに、学校環境の整備・改善を図る。
- ・様々な課題に対し、自らの意思で取り組み続けられる工夫を施し、児童一人一人がもつ資質能力の向上を図りながら、自己有用感をもたせる指導を行う。